

■米国：テキサス州の小売事業者が需給逼迫時の割り戻しプログラムを提供

2014年7月28日付の報道によると、テキサス州の小売事業者アンビット・エナジー社は、ERCOT管内でパワーペイバックと称する需給逼迫時の割り戻し（リベート）プログラムを立ち上げた。需給逼迫時に負荷抑制が必要な場合、抑制量に応じて1ドル/kWhが次回請求時に割り戻される。抑制量は同期間における過去の平日5日平均をベースに決められ、参加条件としては需給逼迫の連絡を受ける電話またはメールアドレスを登録すればよく、抑制不能時もペナルティは発生しない。同社の全需要家にスマートメーターが設置されており、希望すれば誰でも参加可能となっている。また、ERCOT管内の別の小売事業者アミーゴ・エナジー社は、同社のスマートスタットと呼ばれるスマートメーターを保有し、遠方から負荷の自動制御を行える需要家に対して需給逼迫時リベートプログラムを導入した。このプログラムでは、ERCOTのリアルタイム市場価格と需要家の契約単価との差額に抑制量×50%をかけた金額が割り戻される。また、同社は最も累積抑制量が多かった需要家に3,000ドルの報奨金を用意している。